



**長崎県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp  
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」**

～ 経営を極めていく企業家集団 会勢 700 名を達成しよう～



代表理事

松尾 慶一

**謹賀新年**

輝かしい新年を迎え会員の皆様へ謹んで新年のお祝いを申し上げます。そして皆様を支えていただいていますご家族の皆様、更に社員の皆様とそのご家族の皆様、旧年中は大変お世話になりました。今年一年の皆様のご健勝とご多幸をご祈念

申し上げます。また年を重ねるごとに私達同友会に対しまして深いご理解とご協力をいただいております中村長崎県知事、国会議員の皆様をはじめ、県議会、各市町、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、経営者協会、信用保証協会、大学等の各団体や金融機関、さらには長崎新聞社や各テレビ局からも暖かいご支援とご協力をいただけるようになりました。来年度は創立45周年という大きな節目の時に全国から大村へお招きして200名規模の中同協役員研修会を開催致します。(中同協：中小企業家同友会全国協議会)

2019年2月には1,200名規模の中小企業問題全国研究集会を長崎市で開催致しますので、総動員で長崎の良さをアピールするチャンスとして皆様のご協力を宜しくお願い致します。

恒例のポスター事業は今年、素晴らしい第3弾が出来ますので会員企業の社内はもとより、全ての公

共機関や金融機関の良く見える所へ掲示のお手伝いをお願い致します。これを10年20年と継続していく事で同友会のブランディングが確立されていくと信じております。

ところで昨年は、私達の定時総会の前夜に熊本地震という想像もつかない大事件が起きてしまいました。あの悲惨な東日本大震災から5年を過ぎて東北三県の仲間達が復興に必死に取り組んでいる中に新たな災害が襲ってきました。未だに余震におびえる熊本の中小企業の仲間達に、これからも支援を続けて行く所存です。会員各位のご支援、ご協力をお願い致します。

では皆様とその4月15日に総会決議しました事業計画、総会議案書をおさらいして今年も4月の総会に臨みたいと思います。

1. 長崎県中小企業家同友会の第4次ビジョンを推進します。2014年度より、5年後の姿に3年目を邁進中です！
2. 中小企業家として黒字企業を目指します。厳しい環境もチャンスと捉え差別化で生き残りをかける！
3. 会員企業700名を達成します。賀詞交歓会600名達成祝、定時総会700名達成祝！
4. 会員間の企業訪問を計画的に行い、本音で学び合います。会員相互の連帯を深め、各々の経営課題の克服に努める！
5. 「企業変革支援プログラム」に積極的に取り組みます。その為に経営指針策定に取り組みPDC

**目次**

代表理事新年挨拶	1	事務局企業訪問	15
12月例会報告	2	入会・復会会員紹介	16
景況調査報告会 開催報告	9	会員活躍	16
全国事務局長会議 参加報告	12	2月例会案内	17
(株)長崎地研(佐世保支部 村山会員)経営計画発表会 参加報告	12	理事会議事録 抜粋	17
(株)広告のアクセス(佐世保支部 山領会員)経営計画発表会 参加報告	13	会員消息・会員数	18
佐世保支部 365方式 第3回 経営計画書策定セミナー 開催報告	14		

Aを行います！

6. 経営指針を確立し、全社的に実践します。持っている人は見直し、これからの人はセミナーに参加！
7. 中小企業振興基本条例の制定運動を推進し活動します。大村市、松浦市、長崎県、平戸市で条例が制定される！
8. 行政・他団体との意見交換会を開催します。県市・大学・金融機関・新聞社と実施！
9. 2017年 中同協役員研修会の大村開催に取り

組む。大村支部会員と共に素晴らしい研修会を成功させよう！

10. 2019年 中小企業問題全国研究集会を長崎市で開催。同友会の存在と活動を知らしめる良い機会です！

会員が増えれば増えるだけ経営課題も増えていきます。だからこそもっと多くの仲間を増やして相互扶助の精神で長崎同友会らしく4つのスローガンのもと各支部の目標を達成して参りましょう！

## 長崎浦上支部・長崎出島支部 合同例会報告

日 時	12月16日(金) 18:30
会 場	稲佐山温泉 ホテルアマンディ
内 容	合同忘年例会



12月恒例の長崎浦上、長崎出島支部の合同による忘年例会が稲佐山にあるアマンディで開催されました。私としては初めていく所で、まず展望がすばらしく、しばらく眺めておりました。流石、夜景が目玉の長崎と思っても眺めて居たかったのですが、開会が迫りましたので会場に入りました。

祝宴の前に両支部長の講話がありました。吉澤支部長は、「学び」、「楽しむ」、「増やす」を今年度の活動方針として掲げ、活動してきて、支部として仲間づくり委員会や共育委員会など活動が活発に行われるようになってきたことで学びの機会が増えたこと、それによって、会員同士の交流も増えて楽しむ機会も増えてきた事、しかし「増やす」に関しては、数字の上で現在109名と期首に比べて4名の減となっている事を反省されていました。

続いて飯田支部長は、会員の気持ちの中に良い変化が出てきていると話されました。具体的には、現在、例会委員会を4つの班に分けてそれぞれ責任を持って例会の運営に当たってもらっているそうですが、その



班長に來期、数名の立候補者が出てきたとの事でした。

両支部とも、「未来は明るいぞ」と期待できる報告だったと思いました。仲間づくりに関して浦上、出島とも、現在のところは満足できる状態ではありませんが、現在の活動をさらに盛り上げていけば自然と結果はついて来るのではないかと考えています。県の仲間づくり委員長の西山さんが今期末会員数700名の目標をかかげ、シュプレヒコールで第一部が終わりました。

さて、全員が楽しみにしていた第二部は、生バンドによる懐かしいポップスの演奏に聞き入ったり、大抽選会があったり（景品は多くの会員の協賛によるものでした）、全員がテーブルを移動しながら酒を呑み飲み合い、あっという間に時間が終わってしまいました。

この後は、新しい年に向けて鋭気を蓄え、新年の目標を定めるためにも、さらに“語り合う場所”を探しに下界へと下って行きました。

最後に、会員企業と同友会をさらに進化させるためにお互い切磋琢磨して学び合うことを約束して、私の報告を終わります。

(文責 長崎浦上支部 池田 繁隆)



今年の学びを振り返り、盛大に行われました長崎浦上支部、長崎出島支部合同忘年例会。合同で行うことで、近くの支部でもなかなかお目にかかれない方にもお会いでき、話に花が咲きます。

吉澤長崎浦上支部長の一言一言に気の引き締まる思いを受け、飯田長崎出島支部長の今期の活動、来期の思いに来期班長として“しっかり頑張らなければ”と刺激をいただきました。

和やかな雰囲気の中、長崎浦上支部 辻村さんの乾杯で一年の劳いの温泉で温まった後のビールは格別なご褒美であったと思います。

美味しい料理をいただきながらの、歓談で盛り上がる中、バンド演奏が始まりました。

オールディーズライブということで、ビートルズから始まり、長崎浦上支部 安井さんのチェッカーズ、長崎出島支部 李 宗賢さんもキャロルを熱唱。とても盛り上がりました。

そしてお楽しみの大抽選会。長崎浦上支部 西本さんの司会で、みなさん息を止め何が当たるか楽しみに



されていました。今回は会員の中から景品を提供していただき、自社の宣伝に繋がったのではないのでしょうか。景品の当たった方はオブザーバーと一緒に使うなど、使い道を考えていらっしゃいました。

また新たな同友の輪が広がることを願います。

飯田支部長の今年最後の言葉で締めくくり宴もたけなわ、二次会は飯田支部長他数名と安井さんのZACへ。こうした2次会がまた絆を深めます。3次会は今回忘年例会に参加出来なかった来期長崎出島支部長中村こずえさんのお店へ。例会委員長でもある中村こずえさんに楽しい会だったと報告いたしました。忘年例会の景品提供の御礼状も届き、細かい心配りに心が温まりました。

楽しいひと時を会員同士で過ごしなが、今年の振り返り、来年への思いをそれぞれ語ることでできた有意義な時間であったと思います。

(文責 長崎出島支部 菅原 千代枝)

## 大村支部 例会報告

日 時	12月15日(木) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	愛! よい会社・よい経営者であるために ~お客様をワクワクさせる人創り・店創りを目指して~
報 告 者	(株)マツモト 代表取締役 松本 一孝 会員(長崎浦上支部)

まず、出席者全員で「楽しい脳」へのウォーミングアップ。「二人組になって24時間以内にあった楽しいことをシェアしてください」という、松本さんのワクワク人創りを垣間見ながら報告は始まりました。そして、今年の経営フォーラム分科会座長の姿でもひときわ目を引いた、いつものあの愛くるしいナスの着ぐるみ姿での登壇。さらに司会進行役の西さんもなんとダイコンの着ぐるみ姿で松本さんを応援されました。

今回の大きな気づきは、人間関係での思いやりを示



す7つの習慣です。批判し責めたりガミガミ言うことなどをやめて、傾聴し支援して励ましたり、尊敬し信頼して受容し話し合うなどの内的な「愛」の原理に信念をもって方向転換されたことでした。前者のような外的な「力」の原理では効果が低く職場がギスギスするなどの副作用もあり、自分にも合わないやり方だっ



たので、二度と怒らないと宣言したそうです。そして、傾聴して経営理念に沿った判断でのチーム作りに取り組んでいるとのことでした。これは、よい経営者であるための基本と感じました。

そして、サブテーマの「お客様をワクワクさせる人創り・店創り」を目指していることとして報告いただいたことは、朝礼でどう1日をスタートするか、ということでした。そこでは、元気でポジティブなワクワク朝礼の紹介があり、会場の全員も立ち上がって「同友会、大好きー!」「お客さん、大好きー!」で大盛り上がり。元気に声を出して手を振り上げて、一歩踏み出しブレイクスルーできるワクワク朝礼を体感できました。

次にスクリーンに映し出されたのは「86,400」の数字。60×60×24、そう、これは1日の秒数です。使い切らないともったいないですね。そして、続けて紹介されたことは「1.01の法則」です。昨日よりも今日は1.01倍取り組めたら1年間では365べき乗して約37.8の数字になります。毎日こつこつ努力すれば、やがて大きな力となることを数字で示してくれました。

そして、今「よい会社・よい経営者になるために、愛をもって取り組んでいることはありますか？」のグ



ループディスカッションです。各テーブルで、会社を愛すること、会社に対する不満をなくしていく、社員や取引先そしてお客さまに一人間として真摯な対応と感謝の気持ちで取り組んでいく、一人ひとりの才能を生かしていく、話は傾聴してピリオドまで我慢して聴いていくようにしたいなど、現在の取り組みや、これから取り組みたいことの見解がありました。

質問に対しては、常識は人によって違うので傾聴することによって感情にとらわれずに基準をはっきりするようにしていった、本当の怒りを覚えた時にはそのエネルギーを他に向けるようにしていった、意見を出しやすい雰囲気を作り気持ちよく一日を楽しく働いて過ごせるようにしていったなどの実践からの学びを教えてくださいました。

今回の報告とグループディスカッションを通して、内的な「愛」のコントロールでワクワク楽しく感動をもってポジティブな1日をスタートしていこうと決意を新たにされた会員も多かったと思います。また、自分基準の上から目線ではなく、決して無視することなく対等に取り組んでいく人間尊重経営の重要性に新たに多くの気づきを得ることができた例会でした。

(文責 得田 稔)

## 諫早支部 例会報告

日 時	12月14日(水) 18:30
会 場	四季の蔵 食楽亭
内 容	諫早支部の今年を振り返って ～各委員会活動等良かったこと・悪かったこと～

委員会ごとにテーブルに着き、ディスカッションし、その後発表という委員会活動の反省会からスタートしました。今年の委員会活動で良かったこと、悪かったこと、それらをふまえて来年度へ向けての抱負など様々なことが発表されました。

着実に活動が実施されている委員会からは、良かった事しか無く、悪かった事は何も無いといったような発表があれば、活動は全くの皆無だったという委員会もあり、来年度は何らかの形で活動をやっていくと抱



負なども聞けました。

その後は、部屋を変えて忘年会へ突入し、四季の蔵食楽亭(土井美恵会員)の美味しい料理に舌鼓をう



ち、差しつ差されつ、時間は過ぎて行きカラオケタイム等々楽しく時間を過ごしました。

来年も家族のような諫早支部になるように会員全員



で盛り上げていきたいと思いました。

(文責 前田 義幸)

## 島原支部 例会報告

日 時	12月15日(木) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
内 容	大忘年会



島原支部初の試みとなる大忘年会を開催しました。支部長挨拶、新会員・ひといき整骨院 金子典史さんへのバッジ贈呈の後すぐに乾杯といつもと違う流れの中、始まりました。

最初のイベントは参加者全員でのプレゼント交換会！各自持ち寄ったプレゼントを全員で交換し合いま



した。

引き続き行われたチャリティーオークションでは、会員企業あるいは会員がお勧めしたい商品やサービスが出品されました。事前に準備した商品リストや永吉誠さんの見事なオークション進行もあって、事前に集めた商品以外にも即興での出品が続出する程大盛り上がりとなりました。

その後は、会員企業の宿泊施設へのペア宿泊券が当たる参加型ゲームが行われました。参加費ありにもかかわらず多くの会員がエントリーし、川上貴弘さん・金子典史さんの息の合った司会により参加者も観戦者も大盛り上がりゲームとなりました。

支部初の試みなので手探りの中での忘年会でしたが、多くの会員からみんなが楽しめる良い忘年会だっ

たとの言葉をいただき、大成功に終わった12月例会でした。

2017年も交流を更に深め、数多くの学びや気づきを得て、同友会の三つの目的達成を目指すために事

業に活かして行こうと思います。

(文責 柴田 雅史)

## 佐世保支部 例会報告

日 時	12月16日(金) 18:30
会 場	セントラルホテル佐世保
内 容	新聞社直伝「よく効く広報のコツ」



長崎新聞社から講師をお招きし、プレスリリースセミナーを開催いたしました。

プレスリリースが記事として取り上げられるか否かはマスコミ側の判断になりますので、どのような書き方をすれば記者の目を引くことができるのか、ワークショップも交えてコツを教えてくださいました。

新聞の書き方は、情報伝達の究極のスタイルと言われています。見出しを見るだけで、記事の内容がわかるような作りになっているのです。

新聞では、第一段落(全文、リード)に記事の内容が書いてあります。見出しでまず注目させる。次に、具体的にどういうことが書いてあるか、いつどこで誰がどうしてどうなると、リードを読ませる。さらに補足説明として本文が繋がっていくのです。



では、見出しはどう作るのか。見出しの素材は書くプレスリリースの中にあるのです。数字であったり固有名詞であったり、理由を抜き出せば自然と見出しになります。

プレスの人の目に留まり取り上げてもらう様にするには、沢山の同じような内容の中から、目立たないと優先順位は上がりません。今回、マスコミが取り上げるキーワードを教えてくださいました。「寒ブリ」「初ガツオ」「旬菜」～おいしいもの話題ではありません。プレス用語ということで「ぶり」は、例えば「何年ぶ



新商品

長崎さるくマツ

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

## セミナーのお知らせ

2017年1月19日(14:00~16:40)

以下のテーマでセミナーを開催します。

テーマ: 事業承継(後継者への自社株の移転)における贈与税の納税猶予制度、相続税の納税猶予制度の徹底活用

主 催: 福井義憲税理士事務所 (tel. 095-842-3555)

場 所: 長崎ブリックホール会議室

福井 義憲 会員 (長崎出島支部)

りに～」といった話題で使われ、これで1つのニュースになります。同じく「長崎で初の～」といった具合に。もう1つは、旬のもの、季節に合った話題を取り上げる。

見出しに取れるようないい話題は優先順位が高くなり扱いも大きくなる。いい話題は他の新聞が後追いつたりテレビが食いついてきたりします。

そして商品、サービスのどこを強く言いたいのか。人に情報伝達する前に、大事な部分がどこか、しっかり把握していないと相手には伝わりません。

プレスリリースは、広告とは違って基本的に無料です。企業や同友会を伝える力として利用していきたい

ものです。お客様と同様に、記事を扱う側とのパイプを作ることも、伝えたいことが伝わる可能性が大きくなること。意見交換の場としてもいい機会となったのではないかと思います。

セミナー終了後は、大忘年例会での締めくくりとなりました。ともに学び合うこと、ともに支え合うことは、会員の数があってこそいろいろな経験や情報交換の幅が広がっていくことと実感いたしました。

今後も、会員の増強を図り、自身の成長や同友会のさらなる発展に尽力していきたいと思ひます。

(文責 八並 学)

## 北松浦支部 例会報告

日 時	12月8日(木) 18:30
会 場	サンパーク吉井
内 容	会員家族忘年例会

一年の労を会員同士ねぎらい、新たな年に向けて交流を深めるための家族忘年例会で、終始和やかな雰囲気でした。私も家族で例会に参加し、会員の家族同士交流が出来たことは妻や子供達には大変貴重な経験になったと思ひます。

2016年は様々な自然災害に見舞われた一年でしたが、それぞれが同友会での学びを実践し、それに見合った成果を出されたことと思ひます。今年一年を振り返り例会の中で様々な「気付き」がありました。その気付きを自社で実践し、挑戦し続ける事が会社の成長に繋がると思ひます。

各テーブルで先輩方の大変貴重な話を聞くことが出来ました。私も多くの学びを実践し日々精進していきます。※あまりにも盛り上がりすぎて写真撮影を忘れてしまいました!!

(文責 荒木 大輔)

## 五島支部 例会報告

日 時	12月17日(土) 19:00
会 場	観光ビル はたなか
内 容	忘年例会



1年を締めくくる忘年例会でした。

辻支部長からは会員へ今年の活動に対する労いの言葉をいただき、森相談役からは今後の会員増強への熱い思いをいただきました。20名ほどの例会でしたが、それぞれのテーブル、会員間での情報交換や2016



年の振り返りがあり、和やかな例会で実のある時間になりました。またビンゴ大会も行われ、それぞれの会員が持ち寄った自社商品などが景品として出され、お互いの商品を知る良い機会になったかと思えます。

2016年も終わり、新たな年になります。2017

年は五島支部も会員増強を行い、同友会での学びを五島地域に拡げていきたいと思えます。

(文責 勝本 政裕)

## 青年経営者会 例会報告

日 時	12月14日(水) 19:00
会 場	ZAC長崎中央店
内 容	臨時総会



安井さんのお店「ZAC長崎中央店」にて臨時総会を行い、来期の会長を選任承認しました。現会長の橋本が来期も続投の意思を表し、満場一致で承認をいただくことができました。みなさんの協力で議事進行がスムーズに執り行われ、盛会のうちに終了しました。

総会後は忘年懇親会を行いました。サラダ、揚物、お刺身、イタリアントマト鍋、バジルのパスタ、激辛ナポリタン、カレーピザ、生ハムピザ、子悪魔ピザ(山口憲男さん発案、公認)など、たくさんの美味しい料理を楽しみました。飲み物はもちろん五島灘。五島灘新酒、越鳥南枝、五つ星など美味しい芋焼酎でした。田本さんは仕込みのため参加できませんでしたが、彼も美味しいお酒を作っていますね。お酒も入り、なごやかな雰囲気でも盛り上がりしました。仕事でも激辛



料理を研究されている飛田さんが考案した激辛ナポリタンを笹田さんが食べ、顔面蒼白になって「アルジュナー!!!」と叫んでいました。

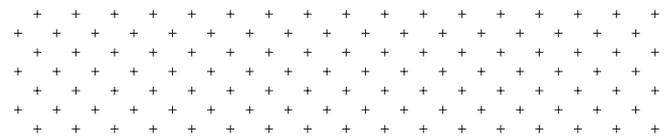
偶然ですが隣の席では長崎出島支部の班会が行われていました。観月の吉田さんのごま豆腐はもっちりとした食感とごまの香りが素晴らしく、贈答品としても大好評の様です。

経営革新、経営指針、共同求人のお話でさらに盛り上がり、まだまだ話し足りないので二次会を分部さんのお店「アクアガーデン」にて行いました。

年末の忙しい中、なかなか時間を割くのが厳しいですが、集まったことに感謝です。

アドラーの言葉を借りますが、「嫌われる勇気」「自己受容」「他者貢献」で来期もいきたいと思います。

(文責 橋本 裕次郎)



## 投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



## 折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日~20日に行います。支部指定も出来ます。

**A4チラシ1枚5円**です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

# 景況調査分析報告会 開催報告

開催日時：11月29日(火) 18:00～19:30 会場：松藤プラザえきまえ「いきいき」ひろば

2015年度から四半期ごとに行っている長崎同友会独自の景況調査。第3回目の調査から人材に関する設問を追加し会員企業の景況感を調査してきました。今回第6回目(2016年7-9月期)の集計を終え、長崎大学経済学部 山口純哉准教授に分析いただき結果の報告会を会員約20名参加のもと開催しました。



## 下記山口准教授の分析内容

資料1 直近(2016年7-9月期)の売上高・経常利益・業況判断・資金繰りD I

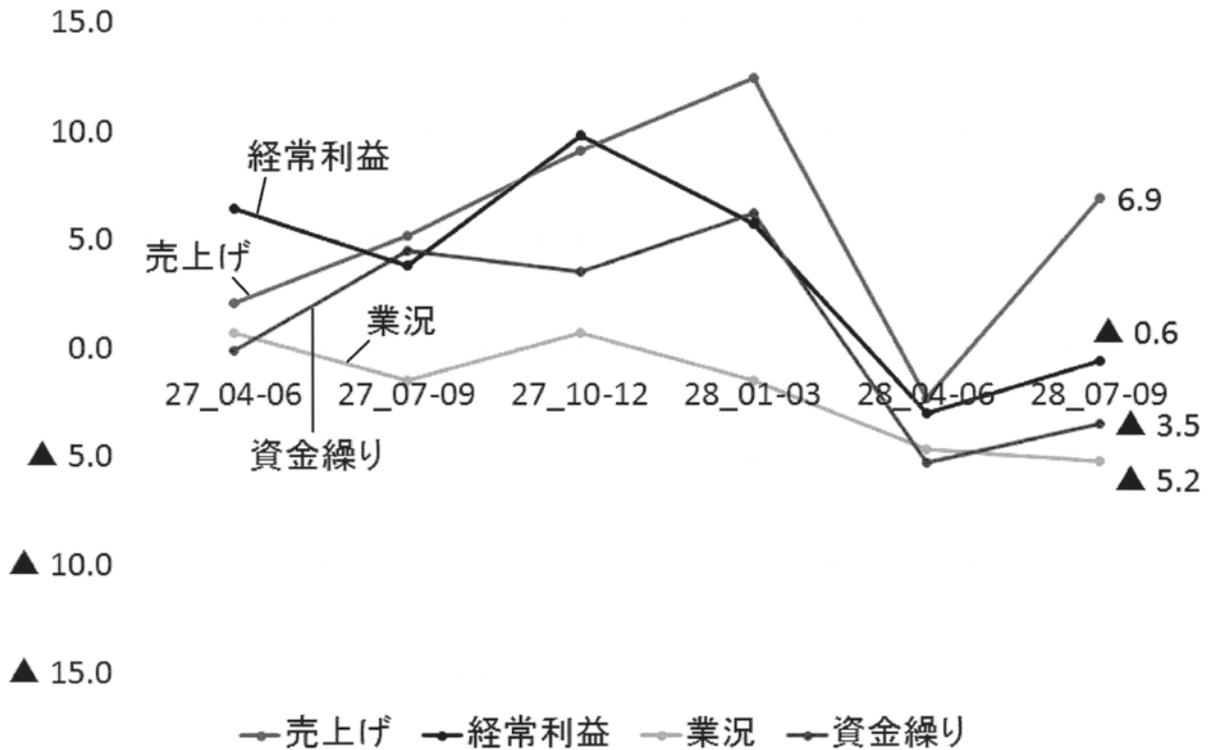
2016年4-6月期 → 7-9月期	売上高			経常利益			業況判断			資金繰り			
	4-6月期	7-9月期	変化	4-6月期	7-9月期	変化	4-6月期	7-9月期	変化	4-6月期	7-9月期	変化	
全国全産業	▲3	▲6	▲3	▲3	▲3	0	▲5	▲5	0	10	14	4	
長崎県全産業	▲2	7	9	▲3	▲1	2	▲5	▲5	▲1	▲5	▲4	2	
長崎県産業別(構成比)	農林水産業	0	100	100	0	100	100	0	0	0	▲50	▲50	
	鉱業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	建設業(17%)	▲6	7	12	▲3	▲7	▲4	20	▲3	▲23	▲8	14	22
	製造業(12%)	0	10	10	0	15	15	▲17	▲5	12	22	5	▲17
	電機・ガス・熱供給・水道	▲50	0	-	▲50	0	-	▲50	0	-	0	0	-
	情報通信業	33	0	▲33	33	0	▲33	33	33	0	0	▲100	▲100
	運輸・通信業	0	▲25	▲25	0	▲25	▲25	0	0	0	0	▲25	▲25
	卸売・小売業(25%)	▲8	▲7	1	0	▲2	▲2	▲19	▲25	▲6	▲11	▲11	▲1
	金融・保険	0	▲20	▲20	▲40	▲20	20	20	0	▲20	40	20	▲20
	不動産	0	25	25	0	0	0	0	0	0	0	▲25	▲25
	飲食店	▲60	0	60	▲80	▲25	55	▲80	▲25	55	▲40	▲25	15
	医療・福祉	17	22	6	0	▲11	▲11	17	11	▲6	▲50	▲33	17
	教育・学習支援	50	0	▲50	50	0	▲50	0	0	0	0	0	0
	対事業所サービス業(13%)	19	27	9	25	9	▲16	0	18	18	0	9	9
対個人サービス業(13%)	▲5	9	14	▲9	0	9	▲14	0	14	9	9	0	
その他	▲25	0	25	▲25	▲20	5	▲25	▲20	5	▲50	▲20	30	
長崎県年商別(構成比)	3千万円未満(16%)	0	11	11	0	4	4	▲7	0	7	▲41	▲30	11
	3千万円～5千万円未満	▲17	0	17	▲25	6	31	▲25	12	37	▲50	▲24	27
	5千万円～1億円未満(24%)	3	17	14	3	7	5	0	2	2	▲25	▲7	18
	1億円～3億円未満(25%)	▲5	▲16	▲11	▲7	▲16	▲9	2	▲27	▲30	5	▲11	▲16
	3億円～5億円未満	6	0	▲6	19	0	▲19	▲6	▲11	▲5	6	22	16
	5億円～10億円未満	8	29	21	8	14	7	8	14	7	39	29	▲10
	10億円～30億円未満(10%)	▲5	22	27	▲15	6	21	▲25	▲6	19	45	33	▲12
30億円以上	▲67	25	92	▲33	▲50	▲17	33	0	▲33	0	50	50	
長崎県雇用数別(構成比)	20人未満(66%)	2	2	0	▲5	1	5	▲4	▲5	▲2	▲16	▲12	4
	20人以上50人未満(18%)	▲4	16	19	4	▲9	▲13	4	▲13	▲16	0	3	3
	50人以上100人未満	▲8	15	24	17	23	6	0	15	15	33	23	▲10
	100人以上	▲22	20	42	▲17	▲13	3	▲28	▲7	21	28	27	▲1

\*売上高・経常利益・業況判断：前年同月比、資金繰り：現在値、全国産業：「第117号同友会景況調査報告(DOR)(2016年7-9月期)」掲載値。

・全体としては、一部の産業に改善がみられるものの、全国(DOR：同友会景況調査報告)と同様に小幅な改善・悪化にとどまっており、先行きに不透明感がある。

・産業別にみれば、建設業、卸売・小売業、年商別にみれば、1～3億円、雇用数別にみれば20人以上50人未満の企業の悪化・停滞感がある。

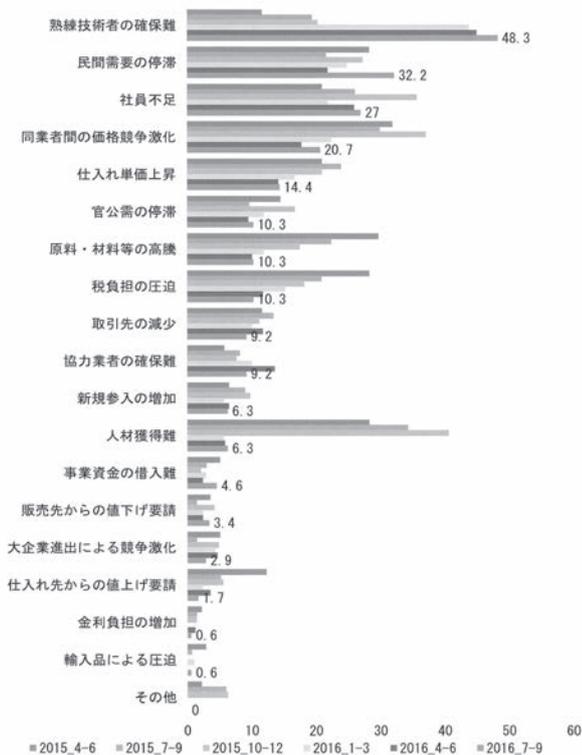
資料2 過去6回調査の売上高・経常利益・業況判断・資金繰りDI



\*売上高・経常利益・業況判断：前年同月比、資金繰り：現在値

県DIの実績がおおよそ1年間しかないため明言はできないが、全国DIでは売上高DI等と同様の動きを示す傾向の業況判断の改善が遅れていることから、先行きに不安を覚える企業が多いと考えられる。

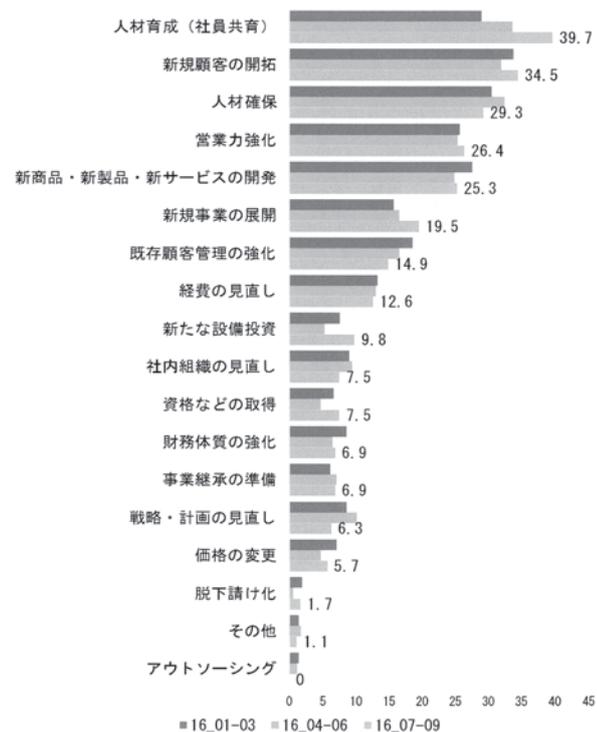
資料3 過去6回調査の経営上の課題（%）



1年前と比べれば、税負担の圧迫、原材料の高騰や同業者間の価格競争が落ち着く一方で、熟練技術者の確保、社員不足や民需の停滞等が経営課題の上位を占めた。

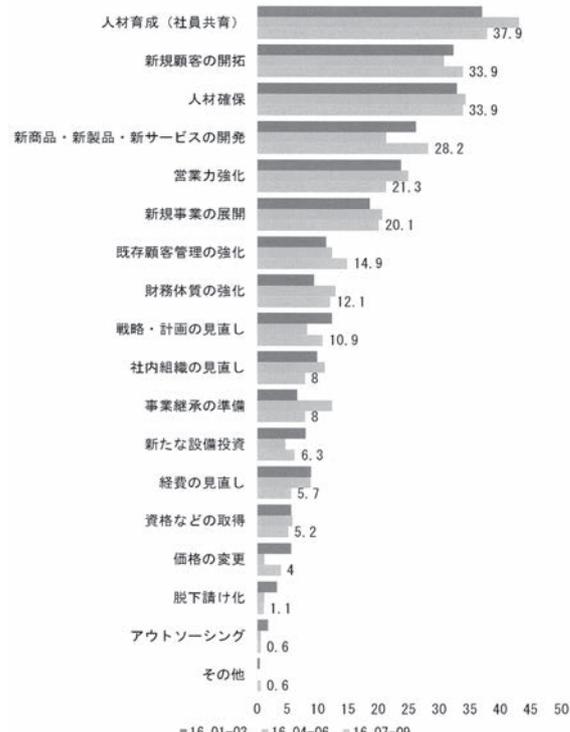


資料4 過去3回調査の現在重点を置いている取り組み（％）



6

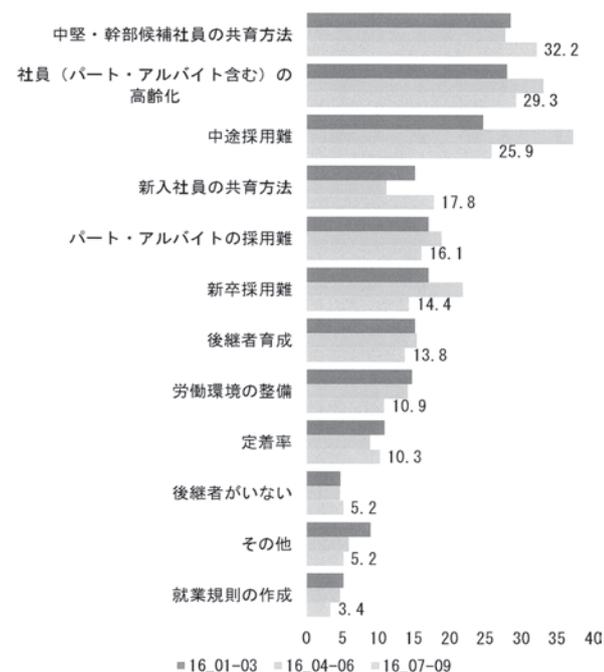
資料5 過去3回調査の今後重点を置く経営課題（％）



7

人材育成(社員共育)の伸びが著しく、幹部社員の育成によって経営組織の基盤を固めつつ、新規顧客の開拓等に努めようとする姿勢がみてとれる。

資料6 過去3回調査の人材にかかる課題（％）



9

中堅・幹部候補社員の共育方法、社員の高齢化や中途採用難等、現員の育成や即戦力の確保等に課題を抱えていることがうかがえる。

報告後、この結果を今後の政策活動にどのように企業経営に生かすか、また大学との連携の在り方等意見交換を行いました。この調査を続けていく上で大きな課題の一つは回答率をいかにあげ、より正確な傾向を示すことです。調査結果が企業経営の一助となるよう、政策委員会では引き続きの景況調査と分析報告会を行いますので会員皆様の積極的な参加をお願いいたします。

(文責 事務局次長 峰 圭太)

# 全国事務局長会議 参加報告

開催日：12月8・9日(木・金) 会場：京都・ホテルビナリオ嵯峨嵐山



1日目の冒頭、平田中同協事務局長より2017年度定時総会の議案骨子について報告があり、内容等確認しました。その後宮城：一戸事務局長、福島：豆腐谷参与から実践事例報告をいただきました。最後に福岡：川畑専務理事より「事務局長のありたい姿(案)」が問題提起されグループディスカッションとなりました。同友会に対し、各方面から期待や求められる意見が多くなってきた中、事務局長としてどのような運動のグランドデザインを描くか、運動の継続性を担保し、経験や情報を蓄積し発信する事務局長のセンター機能をいかに発揮させるか。そのためにも事務局長は情勢を知り、地域を知り、何よりも会員企業を知ることが重要であることを確認しました。会員から運営に関する

事務局長 峰 圭太

“ありがとう”ではなく企業づくりに対する“ありがとう”を多くいただくため、今の立ち位置を誇りに思い、同友会の表看板が代表理事なら裏看板は事務局長という自覚を持ち、同友会の経営責任と事務局長の教育責任を持つこと。経営者から経営を学び事務局長の経営者として学び続けると同時に、自分が変わることの大切さを学ばせていただきました。

2日目は京都大学：岡田先生から情勢の特徴と同友会、事務局長への期待を報告いただきました。主体的に情勢をみるために上から見る「トリの目」、現場から見る「アリの目」を養い、足元の地域を知ることが大切であること、また、今回のアメリカ大統領選を受け、社会情勢も大きく変わろうとするなか、日本経済にとりわけ中小企業に、そして地域にどのような影響が考えられるのかをみる目も必要です。そのためにも中小企業地域振興基本条例を推進し、地域を守るバリアを形成しなければならないことも学ばせていただきました。

2日間を通し、今の自分に何ができるのか、何が求められているのか、何を発信すべきなのか、会運動発展と企業づくり、地域づくりがリンクするようしっかりと整理して提案していきます。

## (株)長崎地研(佐世保支部 村山会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：11月19日(土) 会場：JAさせぼホール



### 【参加者の声】

1. 毎年参加させていただいていますが、年々経営計画発表会が社員の方々に浸透している事が感じられました。今期も経営計画書を基に頑張ってくださいと思います。

昌明機工(株) 中島 禎雄

2. これを見れば会社の全てが解るようになっていきます。経営計画書とは、そもそもこういうものであるべきだと思います。今日は、入社予定の高校生も参加されていました。当社も早くこのように新卒の人財を発表会に迎えられようになりたいと思いました。

(株)広告のアクセス 山領 進

3. 経営計画書の実践度合を測るためにも、目標を数値化し、モニタリングしていくことで経営計画書の効果がより大きくなるのではないかと感じました。

税理士法人ウィズラン 木竹 広賢

4. 経営理念・経営計画書ともに長崎地研の熱い決意が伝わってきます。経営計画発表会はとてもピリッとした緊張感ある雰囲気の中で社員の方々は堂々とされていて、とても素晴らしい発表会に参加でき学びがた

くさんありました。

STSOL 府川開発 府川 正樹

5. 今年も参加でき大変勉強になりました。印象的であったのは経営理念を社員の皆さんで唱和されていたことでした。これまで数回参加しておりますが、私の記憶では初めてではないかと思いました。皆さんしっかりと前を向き声が揃っている様子を見ると日頃より息が合っているのだろうと感じました。随所に社長の思いが詰まった経営計画書であると感じました。この計画書を仕事を中心に捉え今後益々のご発展を祈念しております。

社会福祉法人宮共生会 原田 良太



6. 佐世保支部の経営計画書作成&発表会実践者として、会員の方々、また社員の方々に対し模範となる本日の開催、学び吸収することが随所にありました。やはり、「継続は力なり」強靱な企業になるためには不可欠なことが解りました。

(株)福祉工房K's 豊福 和明

## (株)広告のアクセス(佐世保支部 山領会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：11月26日(土) 会場：ホテルリソル佐世保



### 【参加者の声】

1. 今回は特に新規事業に関して知ることが出来て良かったです。佐世保のライバル達にどう挑むのか、興味があります。来期はきっと大きな事業になっているはずだと確信しました。応援しています。

(有)山崎マーク 山崎 秀平

2. 発表することで、ビジョンを明確にするということを、ぜひとも自分もやりたいと思いました。「まいぶれ」の魅力をもっと知りたくなりました。

鍼灸院みずたま 平山 祐二

3. 素敵な計画書・パンフづくりで広告のアクセスらしさがありました。新事業の取組みを発表され、次回の発表会までに見直しをされる。この事も続けていく時に大切なことだと思いました。また、自分の計画で発表するまで至っていませんが、目標として追いかけていきたいです。

i SOLUTION JAPAN 八並 学

4. 新事業の開拓は、本当に勇気のいる事であり、いろんな不安もあるかと思います。しかし、アクセスの皆さんの決意をお聞きし、今後に期待しています。お招きいただきありがとうございました。

(株)おだ建築 小田 尚美

5. まいぶれ佐世保を取組まれる事は、広告のアクセスにとっては新規事業として、しっかり受け止められ頑張ってください。

ニッコット・サービス(有) 江口 陽一

6. 経営計画書が解りやすくキレイに出来ていたのは流石広告のアクセスだと思いました。新規事業のまいぶれ佐世保を頑張ってください来年の経営計画発表会の時には良い報告を聞かせていただきたいと思います。

昌明機工(株) 中島 禎雄

7. 少人数の経営計画発表会に初めて参加しましたが、これはこれで良いと思いました。内容については広告なので、なるほどといった感じでした。

(有)片桐計量器店 片桐 孝章

8. 「変化無くして会社の成長無し」今年も広告のアクセスの作法がビシビシ伝わりました。本業が良い時に新規事業の立ち上げ、まさにお手本となる取組みだと思います。参加された会員の皆さんにも良い刺激・学び・宣伝だったと感じました。やはり経営計画発表会は過去～現在～未来へと繋げる tool だということを持ち帰ることができました。

(株)福祉工房K's 豊福 和明

# 佐世保支部 365方式 第3回 経営計画書策定セミナー 開催報告

開催日：12月3・4日(土・日) 会場：魚々の宿

各講義は支部会員が務めることで講師側も受講者側も同友会の三つの目的に則った高め合える合宿でした。各社「理念」「ビジョン」の実現化に向けて切磋琢磨された参加者の決意の声をまとめましたので、ご報告いたします。

## 【セミナー参加者の決意】

1. 明確とまではいかないけれども学びが多く、3年ビジョンが見えてきた。これからどういう方向に進めば良いのか、今回のセミナーの感触が残るうちに経営計画書を作成し、「価値ある時間を生み出す」という理念実現に向け、お客様へ価値ある時間を提供し、その向こうにある地域社会の生活や変化感動を生み出せるよう「経営計画発表会を2017年5月にセントラルホテル佐世保にて開催します！」

スタイリッシュワーズ(有) 綿川 洋

2. セミナーへの参加をギリギリまで迷いましたが、チャンスと考え「障がいを持った人の可能性を最大限に引き出し、地域と共生した自立生活が送れるよう支援を行い、地域に密着した施設運営を行う」という理念実現化に向けて経営計画書を作成し、「2017年6月24日セントラルホテル佐世保にて経営計画発表会を開催します！」

(株)佐世保福祉 綿川 淳子

3. 昨年のしくじりがあり、それを踏まえてまずは自分が変わることを「資質」という言葉に拘り行動している。思いを成文化する事を目指していく。

昌明機工(株) 中島 禎雄

4. 2回目の参加で実践報告を担当することができ光栄です。やはり、続けることが大切だと改めて解った。「第2回目となる経営計画発表会を今回セミナーに参加された会員の皆さまを招待し2017年1月28日(土) 九十九島バイサイドホテル&リゾートフラッグスにて開催します！」

村上彫刻 村上 敦子

5. 仕事の都合で2日目からの参加でしたが、早いうちにやるべきことだと必要性が理解できた。「全ての人が瑞々しい珠のような人生を過ごしていただきたい！佐世保の人を1人でも多く健康にしたい！」という思いで、「2017年9月or10月(土)経営計画発表会をカフェバー・きゅーぶにて開催します！」

鍼灸院みずたま 平山 祐二

6. 福祉に貢献できる施設に！利用される方に喜ばれる施設にする！というミッション実現に向かって2017年11月25日(土)セントラルホテル佐世保にて経営計画発表会を開催します。

特定非営利活動法人 茶屋の原 山本 正彦

7. 二日間あっという間の時間でした。自分では、社長は何を考えているのか？と思われていると思うので…タイミングが今であり社内で掘り下げ、経営計画書を作成し、理念の実現・ビジョン達成に向かって「2017年10月14日波佐見の会員である中谷さんのお店で開催し波佐見のメンバーにもぜひ見せたい！」

(株)野田武一商店 野田 洋市

8. 先ずは、例会に参加するメリットを理解出来た。今後、持ち帰って社員全員で経営計画書を作成したい。(少しずついや直ぐにでも形にしていきたい)佐世保で朝日新聞販売店はオンリーワンであり今後益々地域に必要とされる会社を目指していきたい。

(株)PMC 佐藤 安司

9. 私は二日目朝までの参加ではありましたが、自社を見つめ直す良い時間をいただけたと思います。講師担当会員・一緒に学んだ会員の皆さんありがとうございました。我社は、2016年4月から社員が5名増え現在11名で仕事をしています。家族経営のうちは、そんなに大変さを感じることはなかったのですが、今は、会社(企業)としての成長の難しさを感じています。三代目社長として、これからも地域に貢献し奉仕できる会社にするため“経営計画をまとめ、経営計画書に落とし込み、それを内外に発表する！”を目標として「2017年8月に経営計画発表会を開催します！」

(有)前川建材店 前川 優也

10. 一回目のセミナーでは先延ばしになったことを踏まえ、今回のセミナーに参加することで発表会の大切さ・同友会の強さ(支部内で開催出来る)を肌で感じることが出来た。中小企業は恵まれている＝甘え(実践していない)。欧米では学生から起業を目指し学んでいる、今後あるべき姿を目指し実践していきたい。「経営計画発表会を2017年7月22日or29日に波佐見町の料亭にて開催します！」

尾崎陶器(株) 尾崎 彰宣

(文責 経営労働委員長 豊福 和明)

# 事務局企業訪問

萩田さんは、1967年5月生まれの49歳。お若い！サンミシエルのケーキは、素敵な見た目と本当に美味しい味で大評判です。



## <企業名の由来>

サンミシエルというお店の由来は、そうです。モン・サン・ミシエルからです。※モン＝山、サン＝セイント（聖）、ミシエル＝ミカエル。サン・ミシエル＝火の神様。つまり、釜戸を使う職業の神様です。

## <萩田さんのこだわり・愛>

萩田さんが追求されているのは、「シンプルで本質をついた味、手に入る地元の美味しい食材には徹底してこだわり、お客様に感動して戴くこと」です。「だからこそ素材にこだわり、それを生かすために知識と技術を磨き続けます。」と謙遜され克己の精神で日々研鑽を重ねられています。

長崎が「世界新三大夜景」に選定された事を記念して濃厚で味わいのあるロールケーキ「ナガサキセレナーデ」を新作されたりと長崎にもこだわり、長崎を愛しています。その愛が溢れるホームページをぜひご覧ください。表現・システム等々、全てがお客様の立場に立って作られていると言っても過言ではありません。萩田さんの想いそのままです。

ケーキに描かれる似顔絵がなぜこんなにも似せられるのか！？やはりそこにはお客様の笑顔を思い浮かべながら作られている萩田さんの姿がありました。（実はもともと手先が器用な萩田さんが編み出した秘密の法則が…）

## <突然この世界に…>

2002年、35歳の時、この世界に縁あって突然入られました。それまでお菓子作りなんてしたことなかったそうです。1日17時間休む暇無く従事され本当にたいへんだったそうですが、生まれて初めて仕事の楽しさを感じられたそうです。

2005年、38歳の時、3年という驚異的な早さで独立。

2010年、売り上げは伸びても利益が伸びないと悩んでいた時、なんと大手流通グループのギフトの話が舞い込み、年間でロールケーキ15,000セット（3万本）の注文が！

忘れられないのが、母の日ギフトのエピソード。当



日まで本当にフル稼働で出荷完了！！と思いきや、冷蔵庫の奥に13セットが…。運送会社への緊急依頼で12セットはチャーター便で対応していただいたものの、1セットは運送会社の対応ができず、奥様が新幹線で岡山までお届けされたそうです。

## <同友会との出逢い・関わり>

萩田さんは、2014年3月 山口憲男さん（県例会委員長）の勧めで入会。しかし、それ以前にも特別支援学校の生徒さんの職業体験受入れをきっかけに中村こずえさんとも知り合っていたことから同友会の存在は知っていました。

その後も同友会に入会したからこそ知り合うことができた方々から、様々な気付きを得、ものの捉え方・考え方等々を幅広く学ぶことができたそうです。そこには、何事も自分から主体的に関わっていらっしゃる萩田さんの姿勢が表れています。

支部内では、去年は副班長、今期は班長として例会づくりにたいへんご尽力いただいています。

## <今後の展望>

社長業に専念したい！今の萩田さんの切なる想いです。どうすれば現場にはまらなくて良くなるか？いかにして社員の皆さんに永く勤めてもらうか？この10年走り続けて来て、本当にあっという間だったそうです。“全国”を知れたからこそ今、萩田さんの胸の奥には“地域密着”・“地元志向”が高まってきています。「大手の力に頼り、物産展に出展することで、足元を見ていなかった。これからは、その労力を店舗づくりに注ぎます！！」と萩田さんは、今、新たなスタートを切る宣言をされました。

「人とのご縁」を大切にされ、社員さんを愛し、素敵な商品と店舗づくりを追求されている萩田さん。これからも長崎の活性化と同友会の更なる発展のためよろしくお願い致します。

<(株)サンミシェル>

【経営理念】

私達は、お客様に喜んで頂ける商品を作り、快適なお買い物が出来る売場作りと接客を行います。その結果、副産物としての利益を頂く事で、雇用の場が拡がり、私達の生活が向上します。

〒850-0954 長崎市新戸町1丁目31-17-1F  
TEL:095-878-3008 FAX:095-801-6066  
http://www.saint-michel.jp

【浜町店】 長崎市浜町5-13 電車通り  
TEL/FAX:095-826-2500

(文責 事務局 山田 幸司)

新入会員の皆さんです<12月入会・復会>

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	つじ まさひと 辻 正仁		
企 業 名	和洋ダイニング 喜一		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒852-8135 長崎市千歳町3-1 crestin chitose 101		
T E L	095-894-9555	F A X	095-894-9577
業 種	飲食業		
企 業 P R	長崎県産の食材にこだわり、料理をお出しする器は有田焼を中心に揃えております。外海出身の店主が厳選した地元の食材。長崎の「うまい」を存分に味わって下さい。		
スポンサー	中村 政次		



<復 会>

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	うえすぎ ゆうや 植杉 友哉		
企 業 名	(有)うえすぎ折込広告社		
役 職 名	営業部課長		
企 業 住 所	〒854-0072 諫早市永昌町9-5		
T E L	0957-25-5210	F A X	0957-25-5223
業 種	広告代理店		
企 業 P R	新聞業から始まり、折込業、広告代理業と時代の流れとともにステップアップしており、今では出版まで手掛けております。		
スポンサー	吉田 大祐・安井 忠行		



長崎新聞 12月28日 佐世保支部 山崎 秀平 会員

長崎新聞 12月20日

会員活躍

manto(マント)

代表 山崎 秀平さん(38)  
スタッフ 中村みのりさん(33)  
佐世保市万津町

スポーツや職場でのユニホームで使うプリントや刺繍の技術を普段のアイテムで気軽に楽しんでいた。だく地にしたいと、西海市のマーク加工業、山崎マント

ホームで使うプリントや刺繍の技術を普段のアイテムで気軽に楽しんでいた。だく地にしたいと、西海市のマーク加工業、山崎マント

オリジナル品 気軽に

クが9日オープンしたプリントショップです。オリジナルのアイテムを取り扱っています。Tシャツ10枚に1色のプリントをしたとして1枚当たり1000〜2千円。加工には1週間ほど、企業のノベルグッズや地域のイベント、家族の思い出づくりに活用ください。営業時間は午前10時〜午後6時。土日祝日は休。年内は28日まで、年明けは1月4日から。電話0956・76・7917。

リリースのこつ  
経営者らに紹介 佐世保  
長崎新聞社役員ら  
県中小企業家同友会佐世保支部の月例会が16日、佐世保市上京町のセントラルホテル佐世保であり、長崎新聞社の役員らが地場企業の経営者向けにプレスリリースの作成方法を教えるセミナーを実施した。  
約50人が参加。石田謙二取締役佐世保支社長と小林寿人販売局NIE・読者ふれあい室長が講師を務めた。



ニュースリリースの基本やこつについて理解を深めるセミナー参加者  
=セントラルホテル佐世保

石田支社長は、プレスリリースとは「自社商品や企業情報をマスコミが利用しやすいように発信するもの」と説明。情報を正確かつ分かりやすく明記することがマスコミの注意を引くと秘訣を伝授した。  
セミナー終了後の忘年会では参加者が親睦を深めた。  
(中島宙)

# 2月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

## ●長崎浦上支部

日 程 2月21日(火) 19:00  
会 場 プライムステージ  
テ - マ 社長さん、あなたの悩みは何ですか？  
その悩み解決できる社長さんいませんか？  
～同友会をリアルに活用しよう。明日のため  
に、幸せのために～

悩みのテーマ別に3グループに分かれて、解決に向けて本音で討論します!!

## ●長崎出島支部

日 程 2月15日(水) 18:30  
会 場 サンプリエール  
報 告 者 新栄総業(株) 代表取締役  
伊藤 弘和 会員

ご期待下さい!!

## ●大村支部

日 時 2月16日(木) 18:30  
会 場 長崎インターナショナルホテル  
テ - マ 未定  
報 告 者 ソニー生命保険(株) 長崎ライフプランナーセンター第2支社  
首藤 洋一 会員

## ●諫早支部

日 程 2月15日(水) 18:30  
会 場 諫早観光ホテル 道具屋  
テ - マ リーダーの信念が組織を変える  
～なぜドン底の学校は立ち直ったのか?～  
報 告 者 創成館高等学校 校長  
奥田 修史 氏

## ●島原支部

日 時 2月23日(木) 19:00  
会 場 HOTEL シーサイド島原  
テ - マ これがわが社の事業承継  
～3人の経営者が語る三者三様の事業承継～  
報 告 者 (有)北浦材木 代表取締役 北浦 雄一 会員  
平野彩 factory 代表者 平野 大介 会員  
(有)吉田屋 代表取締役 吉田 伸哉 会員

県内トップクラスの若さの島原支部、そんな彼らの気になることは何といっても「事業承継」。そこで今回の例会は、複数の島原支部会員がそれぞれの「事業承継における今」についてお話しします。事業承継完了者も、これから事業承継を行う人も、それぞれの現状における取り組みや悩みを語っていただくと思います。皆様お話し合わせの上、是非ともお越し下さいませ!

## ●佐世保支部

日 時 2月24日(金)  
会 場 佐世保市民会館  
テ - マ 障がいのある方雇用は企業を成長させる。  
～ダイバーシティ経営委員会と佐世保特別支  
援学校の取り組み～(仮称)  
報 告 者 佐世保特別支援学校 教員  
井上 氏・浜西 氏

## ●北松浦支部

日 時 2月23日(木) 18:30  
会 場 平戸市内ホテル  
テ - マ 牛蒡餅 熊屋の歴史とこれから  
報 告 者 牛蒡餅 熊屋  
熊屋 誠一郎 氏

平戸と共に240年の歴史を持つ熊屋さんに語っていただきます。

## ●五島支部

日 時 未定  
会 場 未定  
テ - マ 例会について、例会への関わり方  
報 告 者 未定

例会への取り組み方について学びます。

## ●青年経営者会

日 程 2月3日(金)  
会 場 ホテルセントラーザ博多  
第1回九州沖縄エリア青年経営者合同例会を  
例会に充当

## 1月理事会 議事録 抜粋

1月6日(金) つくば倶楽部

開会挨拶-松尾代表理事

皆様明けましておめでとうございます。賀詞交歓会、600名記念パーティーとなりますよう引き続きよろしく申し上げます。中同協の増強ニュースをみましても最高会勢を更新、全国で46,000名に届く勢いです。長崎も負けないように頑張りましょう。今年1年、よろしく願いいたします

仲間づくりについて

1)入会・復会・復会交代・退会の承認について  
- 6名の入会、1名の復会交代、2名の復会、1名の退会を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

西山仲間づくり委員長総括-年内600名の目標に対して、現在593名となりました。賀詞交歓会までに600名を達成という結果を出せるように動きましょう

(松尾代表理事より)

個人ではなく組織で動かなければいけません。組織として支部が大きな単位です。支部長から支部会員に声をかけてもらい、具体的なアクションをお願いします

協議・承認事項

1)2017年度に向けて

①予算に関して

支部活動費を今年度と同様に1,000円、拡大還元金はなくすものとすることを承認。これから1年のなかで予算に関して検討を行う。各

支部でも支部予算について無駄がないよう検討を依頼

②各委員会からの予算申請について  
(三役会案)

仲間づくり委員会からの提案。今期隔月開催の委員会を毎月開催にするなど具体的な活動をしっかり行っていただくことを前提に理事会へ上程

→仲間づくり委員会からの予算申請を承認

③人事に関して

→来期の役員について承認、総会へ上程

④来期活動方針の検討

→来期活動方針を承認、総会へ上程

⑤第45回定時総会について

(前回理事会までの決定事項)

4月18日(火)ホテルニュー長崎、14:00～。記念講演者を熊本同友会 早咲代表理事に依頼。

(今回確認事項)

記念講演のテーマ等は1月中同協新春幹事会時に詰めることを早咲代表理事と確認済み

→上記を確認

⑥女性部会・障がい者問題担当委員会の名称変更について

→来期からダイバーシティ委員会へ変更の提案

(中村委員長より)

2年近く委員会活動を行い、差別や垣根がまだまだたくさんある。ダイバーシティにすることで専門性が薄れてしまうという意見もあるが、これまで専門性を深め活動することができた。委員は毎回全国大会にも参加をしており、来期はこうした学びを持ち帰って発信できる学びの多い委員会にしたい。

(決議事項)

ダイバーシティ委員会への名称の変更を承認。委員会と支部との連携をしっかりと行うことを確認

⑦来期のスケジュールについて(各支部例会日程等)

(決議事項)

→来期のスケジュールを確認。役員研修会9月9日(土)、賀詞交歓会1月23日(火)を仮決定

⑧議案書について

→ホームページ掲載基準を削除することを承認

→議案書の巻末名簿を削除することを承認

⑨名簿について

(三役会案)

表紙を厚紙に、色を毎年変えるなどの工夫をしてほしいとの意見がある。色に関しては毎年の議案書の色と揃える方向。5月発刊予定

→三役会案を承認

⑩事務局の取り組みについて

→議案書内に活動報告と活動方針案を記載。事務局PDCAシートの実践、来期の担当について承認

⑪各支部議案書原稿提出について

→スケジュールを確認

→委員長は2月理事会にて来期活動方針を提出・確定することを確認

2) 2017年賀詞交歓会について(2017年1月20日(金))

(前回までの決定事項)

日程・場所…1月20日(金) サンプリエール、来賓一覧、式次第案、司会等役割に関しては三役一任とする

(今回確認事項)

→三役会案ですすめることを承認

報告・連絡事項

1) 12月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)

3) 中同協主要行事の紹介

4) 12月8・9日(木・金) 全国事務局長会議参加報告

(峰事務局次長)

事務局長は会のランドデザインを考えることが大切。会の表看板が代表理事であれば、裏看板は事務局長であるという自覚をもたなければならぬ。情勢をしっかりと知り、何が地域に求められるのかを考えることが必要と学ぶ

5) 12月15日(木) 留学生支援センター意見交換会参加報告

(峰事務局次長より)

留学生が長崎には多い。参加することで留学生がどのようなことを考えているの肌感覚で分かるのでぜひ参加を。事業の一環である長崎ブレイクスループロジェクトについての説明会が長崎と佐世保で予定されている

6) 3ヵ月会費滞納者について-該当者なし

7) その他

→(宇土委員長より)

経営労働委員会では新しく発行された経営指針成文化と実践の手引きの勉強会を1/26に行う

→(峰事務局次長より)

書籍の「経営指針成文化と実践の手引き」と「同友会運動の発展のために」と「持続可能な企業と地域のために」を紹介

留意事項

1) 2017年 中同協役員研修会について

→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)

※5月25・26日(木・金) / 長崎インターナショナルホテル開催の方向

2) 2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について

ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室

ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室

※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能

→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)

※実行委員長の検討開始

閉会あいさつ-金井副代表理事

非常に活気のある理事会でした。さすが同友会いい話が多く出て刺激になりました。来期の予算については解決したからいいやということではなく、支部に持ち帰り粘り強く協議ください。またダイバーシティ委員会ができることを心から喜んでます。世の中もいろいろと変わり、同友会も良いふうに変わっています。非常に時間が短く感じた、良い理事会でした

※次回日程-2月理事会 2月2日(木)-つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (1月6日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
現在	109	87	75	69	61	124	44	24	593

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
谷 浩 二	(株)モリテック	諫 早	2010年 7月

●企業住所等変更

藤本 昇 会員 (大村支部) 横田 健 会員 (島原支部)

新会社名: (株)藤本石工

新会社名: アース建築(株)

新役職: 代表取締役

新役職: 代表取締役

野島 敏史 会員 (大村支部)

新会社名: フィーランド(株) 新TEL番号: 0957-48-5639

新役職: 代表取締役 専務 新FAX番号: 0957-48-5639

新住所: 〒856-0032 大村市東大村2丁目1112-144